

令和6年度第79回入学式式辞

中庭の桜が満開を迎え、暖かい春の陽射しが感じられる今日の佳き日に、大阪府立四條畷高等学校第79回入学式を挙行できますことは、教職員一同大きな喜びでございます。

PTA会長 松瀬様をはじめ、ご来賓のPTA役員の皆さまには、ご多用中にもかかわらずご臨席を賜り、高いところからではございますが、厚くお礼申し上げます。

さて、ただ今入学の告示を行いました360名の79期生の皆さん、入学おめでとうでございます。在校生、教職員一同、皆さんを心から歓迎します。

懸命に学び、厳しい受験を乗り越え、難関を突破して本校への入学を果たした皆さんを誇りに思います。

本校は、1903（明治36）年、旧制四條畷中学校としてこの地に生まれ、今年で創立121年目を迎える歴史と伝統のある高等学校です。創立以来の教育方針として『質実典雅』『文武両道』を掲げ、「自主・自律・自由」の精神を育んできました。卒業生は3万人を優に超え、あらゆる分野で、また世界中のいたるところで各界のリーダーとして活躍しています。

生徒たちは、『質実典雅』『文武両道』の伝統の下、勉強とクラブの二兎を追い、極めることができるよう頑張っています。約99%の生徒が部活動で活躍し、進路でも今春は、京都大学7名・大阪大学30名・神戸大学22名をはじめ、国公立大学に184名が合格しました。

本校入学に際し、皆さんに大切にしてほしいことが2つあります。

1つは、「自己管理能力」を鍛えることです。

畷高は学校満足度がとても高い高校ですが、生徒たちは、授業の予習や復習、部活動、行事に追われてとても忙しい毎日を送っています。そして、時には失敗しながら、今できることに最善を尽くすことで高いハードルを乗り越え成長しています。その中で、一番問われるのが「自己管理能力」です。例えば、皆さんが、最初の試験で、中学校の時のような成績が取れなくても心配する必要はありません。なぜなら、本当のゴールはずっと先にあるからです。難関大学合格は高校生活の目標であっても目的ではありません。失敗して挫折することも経験です。多くの失敗をすることで皆さんのレジリエンス（resilience）、困難や逆境を乗り越える力が鍛えられます。大切なのは、時間やメンタルをコントロールする「自己管理能力」をしっかりと身に付けることです。自分の弱点と向き合い、目標を設定し、計画を立て、努力を継続してください。必ず道は開けます。

2つ目は、畷高での多くの「出会い」と「チャンス」を大切にすることです。

昨年、コピー機前での「出会い」が世界を救ったと話題になりました。それは、新型コロナウイルスに対するmRNAワクチンの基礎技術を開発した功績でノーベル生理学・医学賞を受賞したカタリン・カリコ氏の話です。カリコ氏は、冷戦下の1985年、生まれ故郷の社会主義国ハンガリーから博士研究員の職を得てアメリカに渡りました。アメリカでは、任期

付きポストを転々とし、mRNAの研究をしていましたが、思うような結果を残せませんでした。しかし、転機は1997年にやってきました。勤務先のペンシルベニア大学で、学術誌の写しをとろうと並んだ共用コピー機の前で運命の出会いが待っていたのです。ノーベル賞の共同受賞者ドリュー・ワイズマン教授との出会いです。ワイズマン教授から感染症のワクチンを作りたいと持ちかけられ、カリコ氏が「できますよ」と応じて、共同研究が始まりました。新型コロナウイルスの流行が始まると、mRNAワクチンはわずか11か月でファイザー製やモデルナ製ワクチンとして実用化され、接種後1年間で世界の約1980万人の命を救ったと言われています。コピー機前での出会いが道を切り開き、世界を救ったのです。

皆さんにも、暁高3年間でこれからの人生を豊かにする運命的な出会いが待っています。104の中学校から暁高に集まってきた79期生、先輩にあたる77期生、78期生、70人を超える教職員など、一生お互いに刺激し合える友人との運命的な出会い、厳しくも温かい個性豊かな教師との素晴らしい出会いが待っています。そして、知的好奇心を高める授業はもちろんです、部活動や行事をはじめ、台湾への修学旅行やオーストラリア語学研修、ベトナム医療ボランティアツアー、東北・関東サイエンス研修など、皆さんの可能性を広げるたくさんのチャンスが待っています。

皆さんには無限の可能性があります。そして、暁高には、「生徒と教職員が一緒に頑張り、ともに向上する」という伝統があります。そんな暁高での3年間、「出会い」と「チャンス」を大切に、何事にも全力でチャレンジしてください。同級生や先輩、後輩と個性をぶつけ合い、切磋琢磨しながら成長してください。ワクワクしながら楽しんでください。

さあ、今日から皆さんは暁高79期生です。今、皆さんが感じている喜びや誇り、そして一抹の不安を、卒業の時には「暁高で学べて本当に良かった、本当に楽しかった」と思える3年間にしてください。私たち教職員は、皆さん一人ひとりが持っている素晴らしい可能性をさらに伸ばしていけるように全力でサポートしていきます。

最後になりましたが、保護者の皆さま、お子様のご入学、誠におめでとうございます。心よりお祝い申し上げます。家庭教育と学校教育とは「子どもを育てる」という点において、共に同じ方向に進む車の両輪です。どうか本校の教育方針を十分ご理解いただき、保護者の皆様のご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに今日から始まる79期生の高校生活が、素晴らしいものになることを祈念して、式辞とします。

令和6年4月8日

大阪府立四條暁高等学校長 稲葉 剛